

STAGE+を楽しむ(273)(HP 収載)

—ラインガウ音楽祭—

1. 始めに

前報(272)に引き続き、STAGE+のラインガウ音楽祭の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のラインガウ音楽祭の演奏を選びました。

フルシャ指揮、カプソンとハーゲンが共に奏でるブラームスの二重協奏曲

ラインガウ音楽祭

再配信 2025 年 7 月 20 日 9:00

ドイツ・ラインガウ地方の様々な会場で毎年開催される注目の音楽祭に、バンベルク交響楽団と 2016 年から首席指揮者を務めているヤクブ・フルシャが登場し、円熟期のブラームスが最後に管弦楽を用いて作曲した 2 つの傑作を披露します。前半に演奏されるのは、ブラームスが一時不仲となっていた親友でヴァイオリニストのヨーゼフ・ヨアヒムへの和解のための贈り物として作曲した、ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲。1887 年の初演では、作曲者の指揮のもとヨアヒム自身がソリストを務めました。今回の演奏会では、ヴァイオリニストのルノー・カプソンとチェリストのユリア・ハーゲンを独奏に迎えてお届けします。この協奏曲の 2 年前に完成された交響曲第 4 番では、抒情性と情熱的なロマン、そしてパッサカリアが導く力強いフィナーレに心を鷲掴みにされることでしょう。

ソリスト:

ルノー・カプソン (ヴァイオリン)、ユリア・ハーゲン (チェロ)

演奏:

バンベルク交響楽団

指揮:

ヤクブ・フルシャ

曲目:

ヨハネス・ブラームス ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲イ短調 op. 102

ヨハネス・ブラームス 交響曲第 4 番ホ短調 op. 98



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。さらに今回もスイッチングハブ→PC 間 LAN 接続には OPT ISO BOX に代って適用した LAN iPurifier Pro の電源を iPowe2 に交換しています。

今回は、PC の受信から Sonica DAC に送り出して再生しています。

7月20日 9:00 からの再配信を試聴しました。

葡萄の産地のラインガウ地方でワイン醸造所と温泉のある保養地のヴィスバーデンにあるクアハウスのホールでの収録です。

ブラームスのヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲は、冒頭からハーゲンのアグレッシブなチェロのソロから始まります。演奏は、ハーゲンの情熱的なリードから始まり、カプソンのヴァイオリンが折り目正しく受けとめ、オーケストラが引き継ぐという展開で進行します。

アンコール曲は、ラベルのヴァイオリンとチェロのソナタで、ピチカートとアグレッシブなボウイングの曲です。

ブラームスの交響曲第4番は、フルシャが手兵のバンベルク交響楽団を率いての演奏で、美しい旋律から始まり、ブラームスのロマンチズムが展開され、終章に至っても緻密な協和が崩れません。

バンベルク交響楽団は、ブロムシュテット指揮でブルツナーの4番の演奏を聴いていますが、その印象は今も脳裏に残っています。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用した結果、激情をぶつつけるようなヴァイオリン

とチェロの二重奏曲とロマンチズム溢れる抒情的な交響曲の演奏が楽しめました。

以上